

# 平成 28・29 年度 さいたま市教育委員会 研究推進『道徳教育』

## 心豊かな児童の育成を目指した道徳教育 ～自他を思いやる道徳性を養う指導の工夫～

### 仮 説

明確な指導観に基づく「道徳科」の授業を通して、児童自ら道徳的価値を考え、理解し、主体的に学習に取り組んだり、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現したりする力を育めるような工夫した方法を取り入れた授業改善をすることで、児童の道徳性を養えるであろう。

### 手だて

(1) 道徳的価値に関わる教師の見方、考え方や道徳的価値を視点とした児童の実態、授業で児童に最も考えさせたい内容を明確にし、道徳的価値の理解の道筋を明らかにする。

- ・ 資料分析表の作成

(2) 児童が主体的に取り組み、協同的・対話的な議論を行う能動的な学習を取り入れた授業を展開する。

- ・ 指導方法の工夫 (読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習)  
(問題解決的な学習)  
(道徳的行為に関する体験的な学習)
- ・ 導入の工夫
- ・ 発問の工夫
- ・ 話合いの工夫

### 桜木小学校の道徳教育重点目標

#### B 主として人とかかわりに関すること 親切・思いやり

低学年：(6) 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。

中学年：(6) 相手のことを思いやり、進んで親切にすること。

高学年：(7) 誰に対しても思いやりの心もち、相手の立場に立って親切にすること。

### 今後の研修

- (1) 重点化を図った教材で研究を進める  
(校内授業研究会での教材を決定し、資料分析表・指導案を作成する)
- (2) 来年度に向けた道徳教育全体計画・全体計画別様の作成
- (3) 来年度の発表に向けて  
平成 29 年 2 月 9 日校内授業研究会

**学校教育目標**

ちからいっぱい

やさしく（人に優しくできる力） かしこく（自ら学びつづける力） たくましく（心と体をきたえる力）

**道徳教育の目標**

自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

**児童の実態**

本校の児童は、困っている友達を助ける優しい児童もいるが、自分の立場で物事を考えたり、行動したりする児童も多く見られる。また、周りの目や意見を気にし、自分から進んで善い行いを実践することができない児童も多く見られる。

**道徳科の目標**

よりよく生きるための基盤となるため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

**本校の重点項目**

- A 主として自分自身に関すること
- 4 個性の伸長
- B 主として人との関わりに関すること
- 7 親切、思いやり

**めざす児童像**

自尊感情をもち、自他共に思いやりの心で大切にし、よりよい人間関係を築くことができる子

**研究主題**

心豊かな児童の育成を目指した道徳教育  
～自他を思いやり、道徳性を養う指導の工夫～

**研究の仮説**

学校生活の中で互いの考えを認め合い、自己の生き方について考えを深め、道徳の授業において、児童一人ひとりが道徳的価値を理解することで、自他を大切にし、よりよい人間関係を築ける子が育つだろう。

**視点1**

道徳的価値を理解し、  
行動に移せる指導の工夫

**視点2**

互いの考えを認め合う工夫

**視点3**

自己の生き方について  
考えを深める工夫

- 手立て① 授業展開の工夫
- 手立て② 教材提示の工夫
- 手立て③ 発問の工夫

- 手立て① 話合いの工夫
- 手立て② 表現活動の工夫
- 手立て③ 板書の工夫

- 手立て① 書く活動の工夫
- 手だて② 自分の生活を振り返る工夫

- 明確な指導観に基づく授業の実施。 ○児童自ら道徳的価値を考え、理解し、主体的に学習に取り組める授業の実施。
- 児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現したりする力を育める授業の実施。
- 心の日の充実。 ○道徳ストリークの活用。